

浦添市学童集団疎開生と日向市同窓生との交流再開
学童集団疎開の記念式典

年月日	交流再開のできごと
一九七一年 (昭和四十七年)	五・十五 ・米国施政権下の沖縄県が祖国復帰することになった。一九四六年、浦添に帰つてから二十六年の歳月が過ぎて、ようやく沖縄県浦添は日本に祖国復帰できた
一九七三年 (昭和四十八年)	十・十二 ・初めて日向から甲斐栄一さん、児玉満さん、松葉兼夫さん(当時初等科四年生)が浦添市を訪問、同級の当山全弘さん、石川信一さんと再会、互いに三十九歳になっていた
一九八六年 (昭和六十二年)	二・一 ・甲斐誠二さん(当時初等科一年生)が糸満で一般疎開の同年の金城毅さんと再会(四十九歳)
一九八七年 (昭和六十二年)	五・ ・高坂信子さん(当時初等科四年生)が浦添で石川盛栄先生と再会
一九八八年 (昭和六十三年)	八・八 ・糸満市の金城毅さんが平岩で甲斐誠二さんと再会 ・銘苅真栄先生(第二班引率教員)逝去八十二歳
一九八九年 (平成元年)	十二・七 ・「浦添市少年団の船」一五一名、日向市訪問
一九九一年 (平成三年)	八・二十 ・平岩国民学校生(高等科一年生)代表甲斐千徳さん達が浦添、糸満訪問し再会(五十七歳)
一九九四年 (平成六年)	一・四 ・浦添で「第一回浦添国民学校学童集団疎開者の集い」開催 ・永野ヤヨイ先生が疎開生の玉城ツネ子さん、玉城ツル子さんと再会
二・十九	三・十六

一九五九年

平成七年

1

い
開
催

・宮崎市で疎開生二十名と当時の塩見小学校生と

の交流会(代表黒木重義)

・「宮崎学童疎開地浦添訪問団」日向市に来る

田長三山金弘・市議会副議長　昭和四年正月

・ 薩摩小学校同窓生が浦添市を訪問、疎開生と交

流(代表、黒木重義)

・浦添中学校生が(生徒十五名・引率者八名)日向市

訪問交流

・甲斐敏彦議員が浦添市との交流促進について一般質問

田向市議会議員六名が浦添市訪問
・吉枝良文市議(浦添市議会議員)と交流促進について(一)設質問

・ 壱岐貞文市議が浦添市との交流促進について一般質問

・浦添で「第三回学童集団疎開生の集い」の開催

・石川盛栄先生の米寿(八十八歳)祝い

学童集団疎開浦添・日向交流会結成準備会

第一回学童集団浦添・日向交流会発足総会

・日向交流会と日向市長、教育長と懇談要望

第一回日向交流会顧問 理事役員会開催

三木文行議員が酒井市との交渉側面について、一連質問

- ・當山会長に日向交流会の資料を送付する

・第一回日向交流会の顧問・理事会開催

・日向交流会会員へ会員拡大の資料を送付す
・補添へ日向交流会の資料を送付する

・ 潜源へ田向交流会の資料を送付する。

一九九七年

(平成九年)

十一・二〇	浦添、石川盛栄先生八十八歳(数え)になられる
十一・三〇	・日向、黒木重義副会長より、浦添交流会、会長当山全弘さんに電話する
十一・一	・甲斐事務局長より浦添・日向交流実行委員会(以下、浦添交流会という)新城啓重さへ電話する
十一・三	・当山会長から甲斐事務局長に記念碑の便り届く
十一・一九	・第三回日向交流会の顧問・理事会開催、交流会の名称変更等など(会員募集九十一名に)
十一・一二	・学童集団疎開記念碑建立地に視察 FAX、坪谷小学校、北郷村役場、「対馬丸」五十三年ぶりに悪石島沖八百七十メートルの海底で発見
一一・一九	・学童集団疎開記念碑建立地に視察 FAX、坪谷小学校、北郷村役場、日之影小学校、宮水小学校、高千穂役場へ
一・二七	・記念碑建立地への視察
一・二七	・坪谷小学校、北郷村役場、日之影小学校
一・二七	・宮水小学校、高千穂役場
一・二七	・日向交流会の平岩会会員の懇談会
一・二七	・浦添疎開生との交流について協議
三・一〇	・甲斐敏彦議員が浦添市との交流について一般質問
三・一五	・当時の第二富高国民学校(塩見小学校)六年生が同窓会で会員を募る
三・二二	・当時の平岩国民学校高等科二年生が同窓会で会員を募る
三・二二	・当時の第二富高国民学校(塩見小学校)の三年生と五年生の合同同窓会で会員を募る
四・六	・甲斐事務局長が浦添の当山会長、銘苅副会長、新城市務局長に近況を報告する

一九九八年

(平成十年)

四・八	第四回日向交流会の顧問・理事会開催
四・一〇	・甲斐事務局長が浦添交流会の三役に記念碑建立の資料を送付
四・一四	・甲斐事務局長が、当山会長と浦添訪問の協議
四・三〇	・日向交流会全会員に資料を送付する
五・一五	・日向交流会の浦添訪問団打ち合わせ会開催
五・一七	・当山会長と浦添訪問団名簿(三十七名)を送り電話協議
五・一八	・親富祖先生、石川先生へ案内状と資料を送付
五・二五	・当山会長、銘苅副会長、新城事務局長と日向より浦添訪問の電話協議
五・二八	・赤木市長、教育長に浦添訪問への挨拶
五・二九	・当山会長、銘苅副会長、新城事務局長と日向より浦添訪問の電話協議
五・二九	・生四十四名の方と懇親会
六・三	・赤木市長、教育長に浦添訪問の報告する
六・七	・浦添訪問の「ビデオ」試写会
六・三	・第四回日向交流会の顧問・理事会開催
六・七・一	・沖縄県慰靈の日
六・七・一	・河野俊彦議員が浦添市との交流について一般質問
七・一六	・浦添交流会三役に記念碑の資料・写真を送付する
七・一七	・日向市役所総務課・教育委員会へ記念碑資料を届けて協議する
七・一七	・浦添交流会の新城事務局長へ電話協議
七・一七	・日向市役所内の記念碑建立について「浦添市役所から日向市役所へ記念碑建立の件で電話協議されたし」
七・一七	・浦添交流会の三役が浦添市役所と協議

一九九九年

(平成十一年)

八・五

- ・甲斐事務局長が総務課に電話
- ・日向から浦添市役所に電話した、近い内に

浦添に行つて協議する

する事になる

八・三

- ・日向交流会三役に現況を電話報告
- ・総務課より電話、八月十六日に浦添市役所と協議

八・一六

- ・両行政は浦添市で協議

八・一九

- ・総務課の話「浦添市は浦添交流会と協議して日向に連絡する予定」
- ・第七回日向交流会、顧問、理事役員会
- ・両行政の協議の件

八・八

- ・新城事務局長へ電話
- ・浦添市は浦添交流会と協議し、その内容を

九・八

- ・日向市役所に連絡する事になる

九・六

- ・日向市ひまわり塾第七期生、浦添市役所訪問の為

十・一五

- ・日向市役所に連絡する事になる
- ・日向市ひまわり塾第七期生、浦添市役所訪問
- ・浦添交流会から疎開の話を聞く

十・二四

- ・新城事務局長へ電話
- ・「まだ浦添市役所から連絡がない、問い合わせを」

十一・一

- ・浦添交流会と浦添市役所との協議
- ・記念碑建立の取り組み
- ・浦添市役所から日向市役所へ電話
- ・両行政は両交流会からの提案を検討

一九九九年

(平成十一年)

十一・三

- ・甲斐事務局長と総務課協議
- ・両交流会の提案を検討する

民学校の記念碑建立について交流会も連絡を取り検討していただく

新城事務局長に電話協議

・両行政に両交流会が提案して検討依頼

・両交流会で東風平、南風原国民学校疎開の記念碑については双方で検討する

・甲斐事務局長が当山さんに東風平国民学校疎開生の新垣孝信さん(高等科二年)に電話した戴く

・新城事務局長が東風平国民学校疎開生、崎山事務局長と電話協議

・甲斐事務局長が東風平国民学校疎開生の新垣孝信さんと電話協議し検討の返事

第八回日向交流会、顧問、理事役員会

・近い内に日向市長へ日向交流会の具体的な提案をする、理事会の意見を取り入れ三役に一任する

・市役所総務課と甲斐事務局長協議

・市長に日向交流会の案を提案したい

・市に一ヶ所建立の記念碑は約二百万円必要

・日向市長へ日向交流会提案協議

・市に一ヶ所なら交流会も負担する

・建立日は市役所提案の様に市制五十周年(平成

七・六	黒木優市議(交流会副会長)が一般質問 ・学童集団疎開記念碑建立促進について 市総務課が浦添市と電話協議
七・二六	検討したいとの返事あり ・甲斐、新城事務局長が電話協議
七・二八	一、浦添市と浦添交流会と協議を進める 二、事業費の負担割は四者折半とする
八・一	三、記念碑建立は平成十三年度に ・両行政協議、四者会議の実施が具体的になれば日向交流会は浦添市を訪問も検討したい
八・四	・日向事務局長から浦添、当山会長に経過をFAX ・日向事務局長より親富祖先生に電話、留守 ・日向、事務局長より浦添、事務局長へ電話 ・疎開時の写真をNHK取材に利用の件
八・二九	・親富祖先生は入院 ・黒木副会长協議 ・親富祖先生のお見舞いの件 ・両事務局長が電話協議 ・親富祖先生のお見舞いの依頼 ・浦添市役所から進捗を日向市役所に電話 がほしい ・両事務局長が電話協議 ・両行政の連絡の件 ・記念碑建立の工事費の件 ・日向、事務局長が市役所総務課と協議

11000年
(平成十二年)

八・二九
八・三一

- ・浦添市役所と浦添交流会の協議の結果が届かない
- ・記念碑建立の工事費の概算の件
- ・両事務局長が電話協議
- ・両行政の話が進まない」との件

・新城事務局長より電話

・浦添市役所と協議した、十月に日向市役所を訪問する

・日向、事務局長が市役所総務課に伝える

・日向教育委員会、宮副教育長が日向、事務局長に伝える

・「浦添市教育委員会と子供の交流について

・甲斐敏彦議員(日向交流会顧問)が本会議で、記念碑建立の日向市役所と浦添市役所との協議の進捗状況を質す

・日向事務局長と市総務課と協議

・建立費は二五〇万円ぐらい

・両行政の協議後に両交流会で協議したい

・細島・美々津への疎開者と地元関係は、行政と交流会で話してみる

・浦添市役所から日向市役所に来て協議した

・両市役所の協議内容を日向事務局長に電話

・浦添市役所から建立費の負担する

・建立場所は日向岬も見学し今後検討する

・平成十三年度予算時期で市と交流会で協議したい

・両事務局長が電話協議

・十月五日に両行政が協議した

・日向市と日向交流会と協議する予定

・碑文は浦添交流会で作つてほしい

・平成十三年二月ごろに浦添市を訪問したい

11000年
(平成十二年)

十・一四
十・一〇

- ・浦添交流会も寄付金を募り日向交流会に届ける
- ・表碑文と裏経過文は浦添交流会で協議する
- ・市総務課より電話協議
- ・十月二十四日に日向交流会と協議したい
- ・役員でお伺いしたい

第九回日向交流会、顧問、理事役員会

・日向市役所との協議について打ち合わせ

・日向市役所総務課と日向交流会との協議

▲浦添市役所の計画(案)

①記念碑建立の場所は日向市と浦添交流会と協議する

②工事費負担は基本的には浦添市の負担とし、一部浦添交流会の負担とする

③予算については平成十三年度に二五〇万円

を計上したい

④祝賀会には、浦添市長、部長および浦添交流会も参加する

⑤建立後の双方交流については、日向市、小林市と協議し交流を推進したい

▲日向市役所の計画(案)

①記念碑建立費用と除幕式典費用の負担は、日向交流会と協議

②記念碑建立場所は、日向交流会と協議し私有地を提供したい

③記念碑のデザイン等は、日向交流会の希望を取り入れたい

(平成十二年)	<p>十一・一四 員会を設立</p> <p>④記念碑建立工事は、日向市と交流会で実行委員会を設立</p> <p>⑤除幕式の経費負担は日向市と交流会で協議し浦添市の負担無しとする</p>
十一・一六	<p>十一・一六 第十回日向交流会顧問、理事役員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向交流会から市への要望確認 ・総会日程 来年の一月二十日 ・記念碑の寄付金は、三〇〇〇円以上とする ・浦添市訪問は来年の二月とし、総会に提案
十一・一七	<p>十一・一七 日向市長に十月二十四日に両市との協議を得て提案されたことを受け、それを日向交流会会議の結果を報告する</p>
十一・一八	<p>一一・一八 記念碑建立は、日向市役所前に一基を了解</p>
十一・一九	<p>一一・一九 塩見小学校と平岩小学校の生徒と父母に、この悲惨な史実を語り継ぎ恒久平和のために小規模の記念碑を建立していただきたい</p>
十一・二〇	<p>一一・二〇 日向交流会の会員は、約二六〇名で寄付金は一人二〇〇〇円以上として約五〇万円～七〇万円程度</p>
十一・二一	<p>一一・二一 碑文(表・裏)については、体験された浦添交流会から作文していただく</p>
十一・二二	<p>一一・二二 祝賀会の日向交流会からの参加費は、個人負担とする</p>
十一・二三	<p>一一・二三 日向交流会から第二回浦添市訪問は、平成十二年二月に予定している</p>
十一・二四	<p>一一・二四 第三回日向交流会総会案内ハガキ印刷発送</p>
十一・二五	<p>一一・二五 (平成十三年)</p>

(平成十三年)	<p>一一・二一 日向事務局長より浦添事務局長へ電話連絡</p> <p>一一・二二 二月二十四、五日頃の日向より浦添訪問の件</p> <p>一一・二三 第三回総会向け会計決算の会計監査依頼</p> <p>一一・二四 日向交流会三役、記念碑の原石調査</p> <p>一一・二五 第三回学童集団疎開日向・浦添交流会総会</p> <p>一一・二六 寄付金徴収の件</p> <p>一一・二七 浦添市訪問の件</p> <p>一一・二八 日向市役所総務課と日向交流会との協議</p> <p>一一・二九 記念碑建立について</p> <p>一一・三〇 第十一回日向交流会、顧問、理事役員会</p> <p>一一・三一 寄付金徴収の件</p> <p>一一・三二 日向市役所総務課と日向交流会との協議</p> <p>一一・三三 記念碑建立について</p> <p>一一・三四 日向市役所総務課と日向交流会との協議</p> <p>一一・三五 記念碑建立について</p> <p>一一・三六 日向交流会が沖縄旅行、永野、玉井先生含む三十九名参加</p> <p>一一・三七 浦添交流会と懇親会</p> <p>一一・三八 日向交流会三役会議</p> <p>一一・三九 塩見小、平岩小に記念碑建立の件</p> <p>一一・四〇 日向交流会役員会開催について</p> <p>一一・四一 第十一回日向交流会、顧問、理事役員会</p> <p>一一・四二 塩見小、平岩小に記念碑建立を決定</p> <p>一一・四三 新城事務局長に資料送付</p> <p>一一・四四 塩見会・平岩会を開催決定</p> <p>一一・四五 四月中に、塩見会、平岩会を開催決定</p> <p>一一・四六 各役員が同窓会ごとに寄付金を募ることを申し合わせする</p> <p>一一・四七 市総務課と日向交流会の協議</p> <p>一一・四八 市役所前の記念碑建立の準備</p> <p>一一・四九 塩見小・平岩小の記念碑建立準備</p>
---------	---

11001年
(平成十三年)

五・二三】
・日向市教育委員会・塩見小・平岩小校長に陳情

・塩見小・平岩小に記念碑建立場所の許可申請

六・一〇

・新城事務局長へ電話協議

・碑文案は浦添市役所に届けているので両行政で進める

六・二一

・市総務課と電話協議

・碑文案を浦添交流会と浦添市役所と協議中、両行政で調整する

六・二二

・平岩小学校校長と電話協議

・平岩小に記念碑建立の件

六・二三

・平岩小学校校長と電話協議

・平岩会が平岩小学校校長と協議

六・二四

・平岩小学校の記念碑建立の件

六・二五

・塩見会が塩見小学校と協議

六・二六

・塩見小学校の記念碑建立の件

六・二七

・新城事務局長と電話協議

・碑文は、浦添交流会の(案)で両行政が協議

・記念碑の名前の件

・十月三十日の除幕式の出席の件

六・二八

・塩見小、平岩小の記念碑の土台工事費の行政負担の件

・新城事務局長より電話協議

・浦添交流会の役員は記入する

11001年
(平成十三年)

六・二八】
・十月三十日の除幕式、祝賀会の出席者名簿は送付する

七・七

・三泊四日の式典旅行の予定

第十三回日向交流会、顧問、理事役員会

・塩見小・平岩小の二基分の記念碑石の調査選定決定

・碑石の購入価格決定

七・一〇

・日向市都市計画課と協議

七・一一

・記念碑建立寄付者の人数、金額集約

七・一六

・市役所総務課・都市計画課と協議

七・一七

・日向市役所が建立する記念碑の碑文案が浦添市役所から届き案文を協議

七・一八

・碑石は中国山東省濰坊市の石を使う

七・一九

・浦添交流会、新城事務局長と電話協議

七・二〇

・浦添市役所の碑文案了解

七・二一

・浦添交流会の式典参加者と旅行日程

七・二二

・浦添市役所から塩見小、平岩小の碑文案送付の件

七・二三

・懇親会の出し物の件

七・二四

・市役所総務課・都市計画課と協議

七・二五

・日向市役所と浦添市役所の碑文案を修正し了解

七・二六

・碑文の筆字は山本市長が書くことになる

七・二七

・浦添交流会、新城事務局長と電話協議

七・二八

・塩見小、平岩小の碑文案の検討

七・二九

・浦添交流会からの寄付金を日向に送金し記念碑周辺整備に利用

浦添交流会の記念碑除幕式への日程は三泊四日の予定

二〇〇一年
(平成十三年)

八・三	・高瀬・若田石材店に見積もり依頼
八・四	・浦添交流会、日向交流会の役員名を記入
八・二	・日向への除幕式旅行の日程の件
八・一	・第十三回日向交流会、顧問、役員会
八・三	・記念碑の碑文の件
八・三	・浦添交流会、新城事務局長と電話協議
八・三	・表碑文と経過碑文の件
八・三	・両記念碑に両交流会名を記入の件
八・一五	・浦添交流会からの寄付金受領通張番号
八・一九	・浦添交流会より寄付金四二〇、〇〇〇円届く
八・一〇	・浦添、新城事務局長と電話協議
八・一〇	・浦添からの旅行日程、宿泊の件
八・一二	・若田、高瀬石材店に見積もり依頼
八・一二	・嵯峨庭石店に記念碑石、二個四〇〇、〇〇〇円支払う
八・一二	・市役所総務課協議
八・一二	・祝賀会の負担金等の件
八・一二	・第十五回日向交流会、顧問、役員会
八・一二	・経過報告、寄付金、石代、式典、等の件
八・一二	・浦添、当山会長にFAX
八・一二	・碑文、記念碑石、浦添の役員名の件、
八・一二	・浦添、当山会長と電話協議
八・一七	・碑文、式典、祝賀会、記念碑石の件
八・一八	・県北沖縄県人会との懇談会
八・一八	・浦添、新城事務局長と電話協議
八・一八	・記念碑石の二基は浦添の寄付で購入

二〇〇一年
(平成十三年)

八・二八	・記念碑建立工事費見積もり協議、
八・三〇	・一基九〇〇、〇〇〇円×二基、一、八〇〇、〇〇円で契約、施工者決定
九・一	・若田石材店・高瀬石材店へ記念碑建立工事発注
九・四五	・浦添交流会の当山会長、新城事務局長に電話
九・一	・市行政の記念碑建立決定と碑文について協議
九・七	・日向市役所総務課・都市計画課と協議
九・八	・塩見小、平岩小の記念碑基礎工事・行政の記念碑の除幕式、祝賀会について
九・八	・若田石材店・高瀬石材店へ連絡
九・九	・塩見小・平岩小の記念碑基礎工事の見積書提出
九・九	・寄付者へ十月三十日の除幕式・祝賀会の案内状発送準備
九・一二	・寄付者へ案内状を発送する
九・一二	・日向市役所総務課・都市計画課と協議
九・一二	・除幕式・祝賀会の打ち合わせ
九・一二	・記念碑の基礎工事の件
九・一二	・浦添交流会新城事務局長と電話協議
九・一二	・記念碑除幕式の行事について
九・二三	・浦添交流会、当山会長と新城事務局長に除幕式・祝賀会行事をFAXする
二四	・新城事務局長と電話協議、除幕式、祝賀会の件
九・二六	・日向市役所総務課・都市計画課と協議

・経過の碑文は協議のうえ了解
・若田、高瀬石材店より記念碑建立工事代、見積もり届く
・一基九五〇、〇〇〇円×二基、一、九〇〇、〇〇円
・日向市役所総務課・都市計画課と協議
・記念碑建立工事費見積もり協議、
・一基九〇〇、〇〇〇円×二基、一、八〇〇、〇〇円で契約、施工者決定
・若田石材店・高瀬石材店へ記念碑建立工事発注
・浦添交流会の当山会長、新城事務局長に電話
・市行政の記念碑建立決定と碑文について協議
・日向市役所総務課・都市計画課と協議
・塩見小、平岩小の記念碑基礎工事・行政の記念碑の除幕式、祝賀会について
・若田石材店・高瀬石材店へ連絡
・塩見小・平岩小の記念碑基礎工事の見積書提出
・寄付者へ十月三十日の除幕式・祝賀会の案内状発送準備
・寄付者へ案内状を発送する
・日向市役所総務課・都市計画課と協議
・除幕式・祝賀会の打ち合わせ
・記念碑の基礎工事の件
・浦添交流会新城事務局長と電話協議
・記念碑除幕式の行事について
・浦添交流会、当山会長と新城事務局長に除幕式・祝賀会行事をFAXする
・新城事務局長と電話協議、除幕式、祝賀会の件
・日向市役所総務課・都市計画課と協議

平成十三年
11001年

平成十三年
11001年

九・二六	・塩見小・平岩小の記念碑の基礎工事について ・除幕式・祝賀会について
九・二七	・浦添交流会、新城事務局長より電話
九・二八	・除幕式・祝賀会参加者、三十二名になる
十・一	・第十五回日向交流会、顧問、理事会
十・二	・寄付金状況、記念碑工事状況、除幕式、祝賀会
十・三	・市役所総務課に浦添交流会の除幕式参加者名簿を届ける
十・四	・甲斐千徳会長と協議
十・五	・記念碑の字は、児玉賢副会長が書く
十・六	・塩見小校長、平岩小校長と協議・記念碑建立許可の件
十・七	・市教育長、次長と協議・記念碑建立許可
十・八	・両石材店に工事着工を指示
十・九	・塩見小、平岩小の記念碑基礎工事完了
十・一〇	・甲斐・平山事務局と市役所総務課と協議
十・一一	・除幕式・祝賀会の件
十・一二	・浦添交流会、当山会長へ資料FAX
十・一三	・市役所前の記念碑建立が着工
十・一四	・市教育委員会と協議、甲斐、平山事務局次長
十・一五	・除幕式・祝賀会の準備
十・一六	・記念碑の工事内容の件
十・一七	・記念碑除幕式、祝賀会の準備
十・一八	・小林道子副会長、松木さん、局長、名札作り ・児玉賢副会長・除幕式の横断幕作り ・浦添交流会、当山会長にFAX協議 ・除幕式のあいさつの件

十・一九	・甲斐千徳会長との協議 ・日向市駅で浦添交流会を歓迎式の件
十・二〇	・甲斐会長、黒木重義副会長との協議 ・記念碑の御払いの件(十・一五)
十・二一	・浦添交流会、新城事務局長電話協議
十・二二	・式典時の名札の件
十・二三	・日向中、岩脇中の校長電話協議 ・除幕式、祝賀会の出欠の件
十・二四	・市役所総務課協議・会員出席一一〇名 ・塩見小、平岩小の校長に除幕式、祝賀会出席依頼
十・二五	・塩見小、平岩小記念碑石建て込み完了 ・除幕式日をマスコミへ通知 ・記念タオル発注 一〇〇枚
十・二六	・除幕式しおり印刷 ・塩見小、平岩小校長にテント借用協議 ・記念碑おはらい準備 ・十時、塩見小記念碑お祓い ・十一時、平岩小記念碑お祓い ・除幕式しおりづくり ・除幕式の弁当発注 八〇個 ・市役所総務課と協議 ・浦添交流会、新城事務局長に参加者数電話確認 ・除幕式参加者の弁当発注 一二〇個

二〇〇一年

(平成十三年)

十一・二七

- ・日向交流会参加者の名札作り 小林副会長、平山さん
- ・除幕式の祝い餅つき準備 塩見 黒木重義副会長宅

平岩 甲斐千徳会長宅

十一・二八

- ・除幕式祝いの餅つき
- ・記念タオル受け取り

十一・二九

- ・除幕式写真パネルの準備
- ・塩見小、平岩小記念碑除幕式の準備

- ・除幕式の幕を借り上げ
- ・日向市駅へ浦添交流会参加者を歓迎 花束送呈

- ・当山会長外参加者を歓迎 花束送呈
- ・両交流会の三役打ち合わせ

十一・三〇

- ・学童集団疎開記念之碑除幕式

十時 日向市役所広場記念碑前

十三時 塩見小学校記念碑前

十五時 平岩小学校記念碑前

- ・記念之碑建立の祝賀会

十七時 ベルフォート日向

祝賀会に踊りなど出し物が沢山あり、大いに盛り上がりました。

万歳、万歳、永い道のりでした。ご苦労様でした。

これからとの交流が大切で永く続きますように。

● 学童集団疎開記念之碑建立以後の交流経過

二〇〇三年

(平成十五年)

七・三一

四・一九

四・一〇

二〇〇五年
(平成十七年)十・九〇
一一

一一

二〇〇八年
(平成二十年)九・一〇
一一

一一

二〇一二年
(平成二十四年)七・三一
一**二〇一三年**
(平成二十五年)七・三〇
一**二〇一四年**
(平成二十六年)七・三一
一**二〇一五年**
(平成二十七年)七・二九
一**二〇一六年**
(平成二十八年)六 七・一五
一

- ・中学生平和交流団事前研修の講和(浦添市訪問)
- ・中学生平和交流団事前研修の講和(浦添市訪問)
- ・中学生平和交流団事前研修の講和(浦添市訪問)
- ・中学生平和交流団事前研修の講和(浦添市訪問)
- ・中学生平和交流団事前研修の講和(浦添市訪問)
- ・中学生平和交流団事前研修の講和(浦添市訪問)

一一〇一九年
(令和一年)

七月から
八・一

- ・日向市へ沖縄県浦添市中学校平和交流事業団来る(現地案内、講和)

一一〇一〇〇年
(令和二年)

十一月

- ・浦添国民学校学童集団疎開と「学童集団疎開の記念之碑」建立の経過の記、編集、発行



塩見小学校の学童集団疎開記念之碑の前



浦添市内中学生が平岩小学校の記念之碑を訪問

編集後記

一九四四年九月に浦添国民学校から日向に集団疎開して、二年一ヶ月の生活は、預かってきた子供たちを機銃、爆弾から守るために、先生方の苦労は並大抵な」とではなかつた回顧録を、涙して記しました。そして、敗戦後は、食糧難との戦いでした。浦添に帰つて二十七年振りの交流再開、そして、「学童集団疎開記念之碑」を建立し、その経過を記しました。記念碑を建立して、十九年の歳月がたち、この経過録は遅きに失したと、亡くなつた会長の甲斐千徳様をはじめ、先輩の方々に申し訳なく反省しております。

さて、両行政には記念碑建立の協力に感謝し、この経過録に編集協力していただいた疎開生の方々に感謝し、お札を申し上げます。

日本は外国で五十年間戦争をしてその結果がこの沖縄の「学童集団疎開」であり、石川先生の「戦争をしない日本になつてもらいたい」「戦争を望まない……」を引き継ぎながら経過録としたい

(誠二)

永久保存版

「浦添国民学校学童集団疎開と疎開記念之碑」建立記

・編集協力者

・疎開生

當山全弘(当時、初等科四年生)
当間栄安(高等科一年生)

玉城ツネ子(初等科四年生)
新城啓重(初等科三年生)

石川晴祥(六歳)

・日向交流会役員

児玉憲幸(当時、初等科四年生)
黒木重義(副会長九十四歳 海軍復員兵)

平山直雄(初等科六年生)
平山直雄(初等科六年生)

・編集発行日

一一〇一〇年(令和二年)十一月

・編集、印刷、製本

甲斐誠二(初等科一年生)

日向市大字財光寺六五二七一四〇
電話〇九〇一五九二一〇一一六四〇
〇九八二一五四一一八五八